

今冬の電力需給見通しについて

平成29年10月24日
北陸電力株式会社

本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において、今冬の電力需給に係る対応がとりまとめられました。

この中で示された、北陸エリアの今冬の需給見通しは以下のとおりです。

【北陸エリアの今冬の電力需給見通し】

厳寒（2016年度並みの気温）の場合

（送電端、単位：万kW、%）

	12月	1月	2月	3月
供給力	518	569	572	531
最大電力	489	512	512	485
供給予備力	29	58	60	46
供給予備率	5.9	11.3	11.8	9.5

（注）上記の最大電力はいずれも一日最大で想定している。

なお、同小委員会において、卸電力取引市場の活用等が行われることにより全国の各エリアで供給力を確保できる見通しが示され、今夏に引き続き、国として特別な節電を実施しない方針が示されました。一方で、大規模な電源脱落等により電力需給がひっ迫する場合への備えとして対応を行うことも示されました。

当社としても志賀原子力発電所が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以 上